

第1学年 道徳科学習指導案

令和6年10月17日（木）第5校時

- 1 主題名 友の幸せを願う 内容項目【 B 友情、信頼 】
- 2 ねらい 主人公の親友を思った行動や親友とのすれ違いについて考える学習を通して、友達とのよりよい信頼関係を築くために相手の思いを尊重する大切さに気付き、より深い友情を構築しようとする態度を育てる。

教材名 「最後の思い出」（出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

真の友情は、相互に変わらない信頼があって成り立つものであり、相手に対する敬愛の念がその根底にある。それは、相手の人間的な成長と幸せを願い、互いに励まし合い、高め合う平等で対等な関係である。心からの友情や友情の尊さについて理解を深め、自分を取り囲む友達との友情をより一層大切にすることを育てることが大切である。

中学生の時期は、様々な価値観に触れる中で、心から信頼できる友達を得たいという気持ちが高まってくる。これまでの経験で信頼関係が大切であるということは理解しているが、実際に行動に移すことの難しさに直面する時期でもある。自分から友情を築くための共通の課題について考えを深めたり、互いの正しい理解によってより豊かな人間関係が築かれていくことに気づかせたりできるようにしたい。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

(略)

(3) 教材の特質や活用方法について

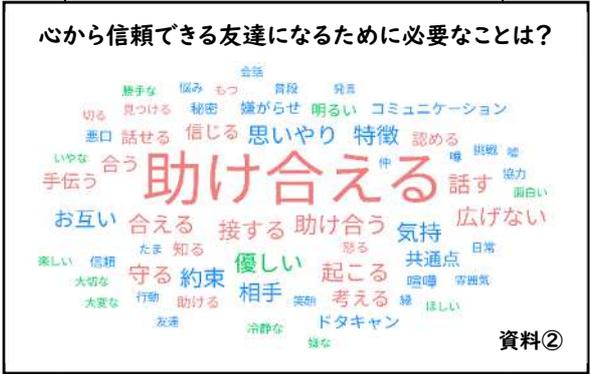
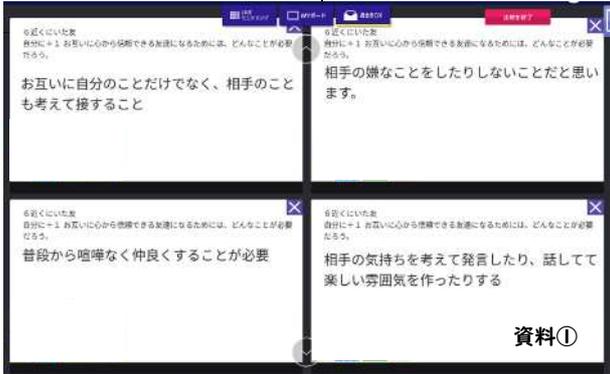
主人公の真奈は中学1年生で、ある日親友の潤子から2週間後に引っ越すことを打ち明けられる。それを受けて友人の智実、結花とともに、サプライズで潤子との最後の思い出を作るために3人だけのSNSグループを作成し準備を始めるが、準備が進むにつれ潤子との距離が離れていってしまう。そんな中、潤子の引っ越しの日にちが早まったことを潤子から告げられ、真奈はこれまでの行動を後悔する。

主人公の真奈へ自我関与すること、潤子との思い出作りやそれが原因でこじれていってしまう4人の関係性を様々な立場から多面的・多角的に考えることを通して、信頼関係を築くうえで本当に大切なことは何か、信頼できる友達についてより深く考えさせる。

以上のことから、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点☆評価の視点	時間
導入	<p>1 学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> オクリンクのカードの一部(資料①)とテキストマイニングの結果(資料②)を提示。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前の学習内容を想起し、今の考えと比べる。 “助け合う”、“相手の嫌なことはしない”など、普段から意識して生活していることを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ内容項目の授業で生徒が書いた内容を、テキストマイニングで視覚的に把握する。 普段から、いろんな人が資料②のような気配りを実践してくれていることを伝える。 	5分
展開	<p>2 教師の範読を聞き、特に真奈と潤子の気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 転校を伝えられたとき、真奈はどんな気持ちだったろう。 	<ul style="list-style-type: none"> あるある。 モヤモヤしたことがある。 相手を怒らせてしまった。 板挟みになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できる友人関係が必要なことはわかっているが、気を遣っていても実践が難しいことを押さえ、ねらいとする道徳的価値について、問題意識をもてるようにする。 	40分



もっとほっとな友情を築くには

<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうして潤子は、真奈に引越しのことを直接伝えたのだろう。 <p>(1) 真奈と潤子に共通した思いは何だろう。</p> <p>(2) 潤子から「さみしい」とメッセージをもらったとき、真奈はどんなことを考えただろう。</p> <p>(3) 真奈や潤子が本当に話したかったことを話せていたら、どんなやり取りになっていただろう。 <役割演技></p> <ul style="list-style-type: none"> ・真奈は、喜ばせようと思ってお別れ会の企画をしたのに、どうしてこのような結果になったのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・真奈には知っておいてもらいたい。 ・親友だから。 <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで仲良く楽しく過ごしたい。 ・充実した時間にしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・モヤモヤする。 ・潤子のためだったのに。 ・そんなつもりじゃなかったのに。 ・どうすればいいのだろう。 ・結花と智実には伝えなきゃ。 ・智実とすれ違ってしまった。 <p>真奈：実は、潤子を喜ばせたくて、結花と智実とサプライズを企画していたんだ。気まぐずなくなってしまっごめんね。</p> <p>潤子：そうだったんだね。でも、私は特別な思い出よりももっと真奈と話をしたかったな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結花と智実と3人だけで盛り上がってしまった。 ・企画することが最優先になり、潤子の気持ちが後回しになってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・真奈の立場、潤子の立場の両方から考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・2人が理想とする「最後の思い出」について押さえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・友情関係に思い悩む真奈の心の内を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・隣の席の人と、真奈役、潤子役に分かれて役割演技をさせる。真奈と潤子の役割を入れ替えてもやってみる。その後全体の場面でやってもらう。 <p>☆真奈と潤子の思いを（場合によっては結花と智実も）、それぞれの立場から多面的・多角的に考え、自分の考えを深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双方にとって、思い残すことがあり、モヤモヤした結果になってしまったことを押さえる。 	
-----------	---	---	--	--

	(4) “もっとほっと、な友情を築くために必要な心はなんだろう。”	<ul style="list-style-type: none"> ・相手だったらどう考えるかを考えられる心。 ・相手に優しくする心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と関わらせながら、よりよい友情関係を築くために必要な心を考えられるようにする。 	
終末	3 自己を見つめ、生き方について考える。 今日の授業で考えたことを書く。		<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクのカードに記入して、送信する。 ☆信頼し合えるよりよい友情を築くために大切なことを、自分と周囲の人間関係を想起しながら、自分との関わりで考えている。 	5分

5 他の教育活動との関連

学校行事	体育大会練習、合唱コンクール、スキー教室に向けた取組。
道徳科	<ul style="list-style-type: none"> ・「近くにいた友」（出典：『あすを生きる』日本文教出版） ・「最後の思い出」（本時）
事後指導 家庭との連携	<p>本時の概要や生徒の記述内容を学級通信で紹介。</p> <p>生徒に配布しながら話題にするとともに、家庭でも話題にしてもらう。</p>

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

・真奈と潤子の思いを、それぞれの立場から多面的・多角的に考え、自分の考えを深めている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

・信頼し合えるよりよい友情を築くために大切なことを、自分との関わりで考えている。

7 板書計画

